

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

昨年の11月28日(金)から12月12日(金)まで、12月定例市議会が開催されました。教育委員会関連の議案を可決いただくとともに、関連の質疑もありました。今回から3回に渡り、12月定例市議会のご報告をします。

1. 可決いただいた補正予算の主な教育委員会関係事項

- 市立学校の營繕事業(8億3,500万円)
 - 小学校2校・中学校14校の体育館にエアコン設置
(市川小、八幡小、第二中、第三中、第四中、第五中、第六中、第七中、第八中、下貝塚中、東国分中、南行徳中、妙典中、高谷中、福栄中、大洲中)
- 市立学校の修繕事業(約5,200万円)
 - 宮田小・第一中の体育館にエアコン設置、須和田の丘支援学校の生徒数増対応 ほか
- 妙典小エレベータ修繕事業(約300万円)
- 市立学校の管理用備品等購入費(450万円)
 - 令和8年度の特別支援学級等の児童生徒数増に伴う教卓やロッカー等の教室の整備
- 生涯学習センター維持管理事業(4,000万円)
 - 生涯学習センターの空調整備

<債務負担行為>

- 須和田の丘支援学校スクールバス送迎委託費(R7;0円、R8;3,300万円、R9;1,200万円)
 - 今年度単年度契約1台に加えて、2台の増車に対応
- 学校保健定期健康診断委託費(R7;0円、R8;4,200万円)
- 放課後保育クラブ指定管理料(R7;0円、R8;4億円)
 - 放課後児童支援員等の処遇改善に係る費用の増加への対応

<寄附金>

- 南行徳公民館の陶芸窯購入(山一興産株式会社)
- 大型絵本・大型絵本専用書架等の購入(個人)
- 奨学資金事業の受給人数増(法人)

2. 代表質問での主な質疑

- 2030年度以降を見据えた教育の方向性【ほとだゆうな議員(未来市川)】

(議員)国の中教育審議会では、次期学習指導要領の改訂に向けた審議が進められているが、2030年度以降を見据え、未来を拓く市川の教育をどのように進めようと考えているのか。

(教育長)中央教育審議会の「論点整理」から、学校に対する教育課程柔軟化の権限拡大を受けた教育委員会の寄り添った支援、「(仮称)言語探究科」による情報活用能力の向上・探究的な学びのために、2030年度以降を見据えて万全の準備・体制確立を進めたい。

- 全国国府サミットで作成したVRゴーグルの活用【加藤武央議員(創生市川・自民党第1)】

(議員)全国国府サミットは一回で終わる企画かと心配している。作成したVRゴーグルについて、考古博物館に置くだけでなく、各学校に貸し出すなど活用すべき。

(教育振興部長)VRゴーグルの貸し出し等も含め、学校教育の場面などで、今回作成した映像を積極的に取り入れ、子供たちが地域の歴史への関心を高める効果的なツールとして位置付けるなど、今後に渡る活用について検討を深める。

- 「市川市教育振興大綱具体化パッケージ」の受け止め【川畠いつこ議員(公明党)】

(議員)市長が策定した「市川市教育振興大綱具体化パッケージ」を教育長としてどのように受け止めているのか。

(教育長)具体化パッケージは、学校教育行政全体を形づくる枠組みと捉えている。個々の具体的な施策は、毎年度策定する教育振興重点施策に的確に反映することと、学校現場と一緒に授業改善などを図ることにより、市川市の子供たちにより良い学校教育を提供する。